

(3) 女性のがん健康支援事業

事業名：女性のがん支援事業

1. 方法

10月の乳がん月間のイベントとして、9月の健康増進普及月間に、都内初の道の駅で年間100万人以上の人を訪れる「八王子滝山」で、1) 乳がん検診車（マンモグラフィ）の展示および技師による説明、2) 乳がんに関するパネルの展示、3) 乳がんの自己触診法の講話や実習・検診受診勧奨、4) 体脂肪測定・栄養指導・栄養相談、を行った。

周知方法は、広報紙、ホームページ、タウン誌、の活用、新聞社への投げ込みを行った。

アンケート調査は検診車を見学された方を対象に、自己触診・乳がん検診受診の動機づけの達成度を評価した。なお、分析にあたっては、男性および欠損値は除外し68名とした。



2. 結果

1) 調査回答者の属性

調査回答者の年代は40代未満が最も多く27名(41.5%)、次いで60代以上が17名(26.1%)、50代が13名(20.0%)、40代が8名(12.3%)と続いた。

マンモグラフィの認知は、61名(95.3%)がマンモグラフィということばを知っていた。

道の駅イベントに参加した40代以上女性9名(23.7%)は、マンモグラフィの受診経験があった。

一方、マンモグラフィ未受診の理由は、複数回答で、気になる症状がないがもっとも多く13名(44.8%)、次いで忙しい・面倒が9名(31.0%)、痛そうが8名(27.6%)、費用が高そうが6名(20.7%)、恥ずかしいと痛そうがそれぞれ2名(6.9%)と続いた。その他の理由としては、マンモグラフィ検診ができる病院が少ないから、機会がなかったから、触診で問題なし、乳房が小さいから、毎年エコーを受けているので、等であった。

2) 道の駅イベントへの評価と効果

道の駅イベントへの内容に対する満足度を評価した。マンモグラフィ車の見学は、良かったがもっとも多く64名(98.5%)、次いで何も思わなかったが1名(1.5%)であり、良くなかったは0名(0.0%)と続いた。

マンモグラフィ車の見学が良かった理由としては、技師から話を聞いたからが46名(70.8%)、次いで実際に機器を見られたからが44名(67.7%)、検診内容が分かったからが41名(63.1%)と続いた。その他として、来月検診を受けるので予備知識を知って良かったや早期発見が回復のカギなので、きちんと検診を受けようと思った、などがあった。

今後のマンモ受診意図は、これからは受けてみたいがもっとも多く49名(77.8%)、次いで、

今後も受けようと思ったと分からないがそれぞれ7名（11.1%）と続いた。

3. 考察

道の駅「八王子滝山」を訪れた人を対象に、1) 乳がん検診車（マンモグラフィ）の展示および技師による説明、2) 乳がんに関するパネルの展示、3) 乳がんの自己触診法の講話や実習・検診受診勧奨、4) 体脂肪測定・栄養指導・栄養相談、を行った。

本事業の最大の成果は、約9割の調査対象者（ただし、乳がん検診の対象となる40歳以上を対象とする）が、これからは受けてみたい今後も受けようと思ったと、今後のマンモ受診意図を持ったと回答した点にある。これは、事業実施前のマンモグラフィの受診率が約2割であったことを考えると、大きな成果と評価できる。

また、事業に対する満足度について、マンモグラフィ車の見学が良かったとほぼ全ての対象者が回答し、住民サービスとしての質も非常に高かった点も評価できる。

一方、本事業の限界として、第一に、選択バイアスの問題がある。本事業は、参加を希望した者を対象に行ったものであり、元々乳がんや乳がん検診に対する意欲や関心が高い人が集まった可能性がある。よって、本事業の一般化可能性は限定的である。

第二の限界として、調査設計の問題がある。本事業の評価デザインは、対照群を設けず、また事前調査を伴わないものであった。故に、様々なバイアスの存在を考慮すれば、本事業の効果は厳密には不明であるというのが、現在の科学的考えである。

第三の限界として、調査項目の問題がある。本事業の評価に用いた調査項目は、回答者の負担を軽減するために必要最低限の項目に絞って行われたが、より詳細な例えば乳がんに対する各種意識の変化などについては測定していない。よって、本事業による利益あるいは不利益について、詳細な検討を行うことができなかった。

上述した限界を踏まえ、今後同様の事業を行う際は、適切な対象者、評価項目および評価デザインを用いて、事業評価を行うことが求められる。

4. 結論

10月の乳がん月間のイベントとして、9月の健康増進普及月間に、都内初の道の駅で年間100万人以上の人を訪れる「八王子滝山」で、乳がん検診車（マンモグラフィ）の展示および技師による説明、2) 乳がんに関するパネルの展示、3) 乳がんの自己触診法の講話や実習・検診受診勧奨、4) 体脂肪測定・栄養指導・栄養相談、動機付けにつながったことが示唆された。

しかしこの評価は、道の駅を訪れた人を対象者にしたアンケート調査に基づくものであり、効果の一般化を行うためには追加的な調査が必要になる。

